

【2021 年度/総合基礎科目領域/共通基礎科目群】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
教育原理		選択	2	1.2	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
星野 浩章	大学事務室	h.hoshino	授業終了後に質問等受付		
授業の目的・概要	医療や福祉の活動は、そこに携わる者が適切に相手を支えることができるかが課題となる。そこで、この授業では、支援者として教育というものの意味や目的・役割などを正しく理解して臨むこと、支援者としての基本的な姿勢を学ぶことを目的とする。具体的には、学校・家庭・地域社会など様々な場における教育について考えることを通して、医療・福祉に携わる者が患者や相談者といかに良好な関係を築き、改善に導いていくか、ということを教育的場面設定の下に、時にロールプレイやグループワークなどを通して幅広く学修する。				
学習上の助言	自分自身がこれまで受けてきた教育が、どのように自分自身の中に生かされているかを考えると共に、現代社会における様々な教育に関する問題について、新聞・インターネット等を利用して最新の情報や動きにも目を向けて欲しい。				
教科書	特に指定なし				
参考書	必要に応じて指定する。				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	教育とは何かについて考え、人が生きる上で大切な役割を持つことが理解できる。			HUS(1)、(2)、(3)、(5)	
②	教育の役割と医療・福祉の活動場面との結びつきを理解し、説明できる。			HUS(1)、(2)、(3)、(5)	
③	教育の持つ役割が他者との関わりの中で実践できる。			HUS(1)、(2)、(3)、(5)	
④					
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学修内容等	授業の方法	学修課題・学修時間 (時間)		
1	授業概要・授業方法の説明とグループ分け、自己紹介	講義と演習	自己紹介文をまとめて提出する。	4	
2	教育とは何かについて自作資料をもとに考察する。	講義と演習	授業資料に記入し、問いに答えて課題として提出する。	4	
3	目標管理シート (目標設定、達成計画、評価基準) を作成して、自己管理と自己教育について考察する。	講義と演習	目標達成に向けた計画を1週間実施する。	4	
4	目標に対しての取組結果、自己評価をグループ内で発表し、相互に助言や支援を行う。	講義と演習	助言を生かして計画を見直し、さらに1週間継続実施する。	4	
5	目標管理と自己教育及び支援助言についてレポートにまとめる 自分史作成の手順に従って、自分史の作成をする。	講義と演習	レポートを仕上げ提出する。 自分史を完成させる。	6	
6	自分史の中から、これまでの学校教育で得たものや負の側面、 或いは学校教育以外で学んだことを取り出し発表する。	講義と演習	発表結果を各自報告形式で提出する。	2	
7	日本の文化・日本人(日本社会)の特性について学修する。自作資料に沿って個別の問答形式で学修を進める。	講義と演習	学修資料に基づき、これまでの学修を整理して提出する。	4	
8	日本人(日本社会)の特性と医療・福祉の活動場面での関わりについて、 グループ内で話し合いをしつつレポートにまとめる。	講義と演習	医療・福祉との関わりについてのレポートを仕上げ提出する。	4	
9	障がい児者支援に関して、医療や福祉の具体的な対応場面を想定してシミュレーションをする。	講義と演習	障がい児教育についての支援計画を想定してまとめる。	4	
10	脳梗塞で障害を負った高校生をテーマにした VTR を視聴し、 医療や福祉の対応場面における教育的役割を体験する。	講義と演習	医療や福祉の具体的な場面で必要な教育的支援をまとめる。	4	
11	アンガーマネジメントとは何かについて学修すると共に、 自分自身の怒りについて資料をもとに自己分析する。	講義と演習	次回の1分間スピーチの内容をテーマ選択して準備する。	4	
12	「説明力」とは何かについて、実際の1分間スピーチ (一人一人実施する) を通して体験的に学修する。	講義と演習	医療・福祉の分野で説明力を求められる場面を想定しておく。	4	
13	患者・相談者への支援・助言における「説明力」の重要性について 具体的場面を設定してグループ内での実践を通して考察する。	講義と演習	リハビリや相談場面での説明力の必要性をまとめる。	2	
14	目標設定から評価までの教育過程を患者や相談者との対応場面に置き換えてシミュレーションをする。	講義と演習	リハビリや相談での具体的な対応場面を想定しまとめておく。	4	
15	各自想定したシミュレーションに基づいて、学科ごとのグループでロールプレイをして結果をまとめる。	講義と演習	レポート試験の準備	6	
試	期末レポート (「医療や福祉の活動と教育の関わり」) 提出 達成度評価・評価のポイント参照				

【2021 年度/総合基礎科目領域/共通基礎科目群】

達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		0	50	30	0	20	100
総合力指標	知識・技術力	0	10	0	0	0	10
	思考・推論・創造する力	0	20	10	0	0	30
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	10	10
	発表・表現伝達する力	0	10	10	0	0	20
	コミュニケーション力	0	0	0	0	5	5
	取組みの姿勢・意欲	0	0	10	0	5	15
	問題を発見・解決する力	0	10	0	0	0	10
評価のポイント						フィードバックの方法	
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①	✓	レポート課題 3 回分について、この学修が今後予想される仕事の中で、どのように生かされるか、また自分自身の課題としてどのように生かしていくかが考えられているかを評価する。評価割合は、知識 10%、思考 20%、表現力・課題解決力 20%				レポート課題 3 回に対して、理解の傾向や内容等について各自のレポートに補足や解説等を加え返却する。
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①	✓	発表内容や具体的場面の想定等を回答した内容を含めて評価する。評価割合は、発表 10%、思考・推論 10% 取り組む姿勢・意欲 10% とする。				個々の発表や各課題の提出後に、内容にコメントを加えたり、添削したりして理解度を含め評価を伝える。
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	グループワークやロールプレイなどの取組、対応力(協調性)、指導力(リーダーシップ)、コミュニケーション力を評価する。評価割合は取組・意欲 5%、対応力・指導力・コミュニケーション力 15% とする。				グループワークやロールプレイを実施後、その場で講評し評価を伝える。
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
<p>今後の新型コロナウイルス感染症にかかわる事情等によっては授業形態・内容・シラバスの再度の変更もありうる。その場合には事前に告知する。</p>							